

宮崎大学発 都農町かわら版

令和4年12月号



宮大が都農町寄附講座で
行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

毎号変わる 都農にいる宮大のひと紹介

年度末、良い
報告ができるよう
頑張ります！

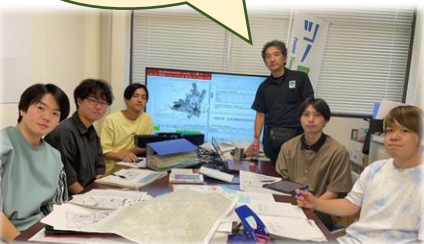
瀬川 直樹（せがわなおき）先生

宮崎大学地域経営学講座准教授(経済地理学専門)

~~~~プロフィール~~~~

岩手県盛岡市出身、地質系コンサルタント、政  
府系調査研究機関を経て2020年より現職。52歳。

ひと言：ゼミ生たちが町民の皆様の自宅に訪問し、  
たくさんの都農の暮らしのお話を聞かせて  
頂きました。ありがとうございました。



9月下旬から10月上旬にかけて、瀬川ゼミ3年生の共同研究のためのアンケート調査票を対象地区に各戸配布させていただきました。以前ご紹介した「住居と生活環境に関する調査」です。3名の3年生と新たに加わったゼミの2年生、出口ゼミ3年生、そして都農小学校の生徒さんの応援もあり**総勢8名で約2500部を配布しました**。皆さまからの多数のご返信をいただき誠にありがとうございました。これから分析を進め学生にとって初めての調査研究報告書の作成に挑戦します。

がんばるひょん！



ゼミ室での調査票準備の様子

## キーワード：経済地理学とは？ By瀬川先生

経済現象の空間性・地域性の把握・分析を行います。現実の経済現象が経済理論が示す通りに現れないのはなぜか、一見すると同じような条件下にある地域の間には違いが生じているのはなぜか、といったことを考えます。例えば、コンビニエンスストアが人口分布と等しく立地しないのはなぜでしょう？ 地域の歴史、文化、自然、社会、生活、環境、制度ほか様々な事柄の影響を受けているからです。平たくいえば「**なぜそれがそこにあるのか**」という疑問を追求する分野です。研究対象やスケールは様々です。

## 12/16(金)・17(土)地域学部1年生22名が1泊2日で地域探索実習Ⅰの実習をしました。

1日目は町長、役場の方の講話の後、午後は6班に分かれて旧10号線近隣を探索し、町の方々にお話を伺いました。商店や地域の方の生の声を聞く貴重な機会となりました。→



←夜の部では、つの未来財団主催のまちづくり談義がありました。昼間に見聞きした中心街の未来について、皆でアイデア出しを行いました。「都農町で学生にできることは色々ありそう。入口はつくるので是非関わってほしい」と山内理事。

2日目は、町内の農漁村・山間部として下浜、寺迫、木和田の3地区に分かれ、各地区の方に講話をいただきました。集落の存続や生活環境の現状、課題を見聞きし、肌で感じる時間となりました。



## 11/29、12/7 つの未来会議に地域学部学生が

【参加学生のコメント】 参加しました。

講師の方がお話しくださった商店街の活性化と中心市街地の居場所づくりの事例から、旧10号線の活性化への解決策につながるような考えを得ることができました。町民や商業者、行政が混ざって意見交換できる場は貴重であるため、是非色々な大学生にも参加してほしいと思います。(4年生・永友さん)





# LIC(長期臨床実習) in 都農

地域に滞在し長期間複数診療科同時進行型で行う実習で、都農町立病院では2020年から12週間のLICを年間3名受け入れています(都農ファーストプログラム)。医学生は4年生後半から診療参加型の臨床実習を開始し、2年間で計68週間の実習を行います。実習前に面接や技能・知識の各種試験を受け、合格した学生がスチューデントドクターの資格を得て、医療行為を行う実習に参加できる仕組みになっています。

都農町立病院で受け入れているLICの学生は、知識や技術の更なる習得を目指して都農での長期実習を希望してくれた地域医療の担い手・若きホープです。地域医療の実情を知るための3つのポイントは、①地域を知る、②地域に生きる人を知る、③地域の医療を知る、です。実習生は病院内、訪問診療の他、日々の生活で町内の皆様と触れ合う機会を持つことも地域を知る学びとなります。



桐ヶ谷先生よりひと言：医学的知識は大学で身につけていますが、社会人、医療人として成長するためには、これから多くの経験を積んでもらう必要があります。そのためには医療者だけでなく、**地域の皆さまのご協力が欠かせません。医学生それぞれの成長のため、将来の地域医療のため、医学生の実習にご協力をお願いいたします。**

## ☆☆今月の実習生紹介☆☆

日野亮子(ひのりょうこ)さん 医学部5年生  
都農町立病院にて3/3まで長期実習中。

ひと言：都農町でしか出来ない貴重な経験をたくさんさせて頂き、大変実りのある日々を過ごしています。地域の一員として住民の皆様の健康を支えられるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します！



頑張っているモウ〜



## 12月のけんこう日記より抜粋(12/13) 遂に完走！！Byつのまるナース

先日行われた青島太平洋マラソンを無事に完走する事ができました。30km辺りまでは、順調だったのですが、35kmを過ぎた辺りから足が棒の様になり、明らかにペースダウン。初めて青太に出場した5年前は途中歩いて完走。今回2回目の青太出場となる私にとっての目標。

それは『歩かずに完走』でした。なんとか自分との戦いに勝利し目標を成し遂げました(笑) なんととも言えない達成感と爽快感で・・・

続きは→

都農けんこう日記

かわら版デジタル

## ☆☆つのまるニュース☆☆

「つのまる」は医学部寄附講座が旗振り役となって立ち上げた都農町ローカルけんこうメディアです。「**都農をまるっと見守る=つのまる**」には「けんこう応援団」として病院の総合診療医や看護師、保健師、介護士、福祉関係者などが日記を書いています。

### NEWS① slack

多職種連携の第一歩、繋がるツールにけんこう応援団用Slack(スラック)を導入しました。9月から声掛けを始めて2か月半、初めての人も多く、すぐには活用が進みませんが、自己紹介から始めて日記の投稿まで少しずつ慣れて、情報共有や緩やかに相互理解を深めるコミュニケーションの場として便利に使えればと願っています。

### NEWS② 12月の「とりくみ」記事 必読！

つのまるのインタビュー「とりくみ」の今月記事に つの未来会議での吉村教授の地域医療、都農の医療福祉の未来図、総合診療医育成についてのエピソードが掲載されています。皆で目指す町の姿が分かりやすく表現されていて、役場職員はじめ町の皆様、必読です！コメント歓迎します。



## ☆☆宮大イルミネーション点灯式☆☆

クリスマスシーズンを迎え、都農駅前でもイルミネーションが駅の乗降客を迎えてくれていますね。宮崎大学木花キャンパスの地域デザイン棟では、毎年恒例学生ボランティア有志によるイルミネーション点灯式が12/1にありました。PETボトルを使った電飾はオリジナル。自分たちの大学を自ら盛り上げようという気持ちは、地域での主体性に通じるもので頼もしいです。



発行元：つの未来財団  
発行日：2022年12月23日(原則毎月発行)  
編集：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構  
問い合わせ：0983-32-1270(つの未来財団)

